



ご挨拶

東北農政局 和賀中央農業水利事業所
豊沢川農業水利事業建設所長 木村 俊逸

このたび8月1日付けで国営豊沢川農業水利事業建設所が開所となり着任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

豊沢ダムは、重力式コンクリートダムで、造成後50年以上が経過し、ダム周辺の法面擁壁などコンクリート構造物の亀裂や欠損、機械設備、洪水吐施設、取水施設、放流施設、管理施設等の老朽化が進行しており、施設の維持管理に多大な費用と労力が必要となっている状況です。今回の事業ではこの老朽化した施設の改修を行い、併せて小水力発電施設を新設することで、農業用水の安定供給とダムの安全管理及び維持管理費の軽減を図ることとしております。なお、事業は平成34年度までの8年間の予定で完成させる計画となっています。

先般、「豊沢川の森・市民植樹祭 2015」が9月19日に開催され、多くの児童や市民の方が豊沢川の森に植樹を行いました。我々もこの水源（豊沢ダム）を次世代の子供たちに引き継ぐため、このダム改修事業を推進していきたいと考えます。

現在、職員6名と小人数ではありますが、早期に工事着手ができるよう努力してまいりますので、土地改良区組合員の皆様には何とぞご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業計画

1. 受益面積

| 関係市 | 花巻市 | 北上市 | 計 |
|----------|-------|-----|-------|
| 面積(水田)ha | 4,105 | 145 | 4,250 |

2. 工事計画

| 施設名 | 箇所数 | 内 容 |
|-----------|-----|--------------------------------------|
| (ダム) | | |
| 堤体 | 1式 | 堤体天端部の補修、左右岸擁壁の改修等 |
| 取水放流施設 | 1式 | 取水施設、放流施設、洪水吐施設の改修及びダム管理用道路の新設 |
| 管理施設 | 1式 | 豊沢ダム管理事務所の改修、ダム管理システムの更新、管理設備の更新及び新設 |
| (小水力発電施設) | | |
| 豊沢発電所 | 1力所 | 小水力発電施設の新設 |

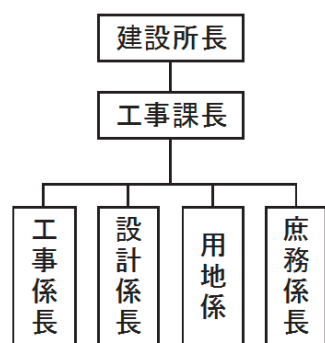
3. 総事業費 6,700百万円 (67億円)

4. 予定工期 平成27年度～平成34年度

地 図



豊沢川農業水利事業建設所 機構図



劣化状況：漏水、発錆、腐食



ごあいさつ



理事長
平賀 巖

組合員の皆様には平素より当土地改良区の業務運営全般に亘り格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、農林水産省をはじめ、各行政機関並びに各農業団体におかれましては、土地改良事業の推進にご懇切なるご指導、ご配慮を賜り、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、用水状況であります。今年も代掻き・田植期に一部地域で用水不足の事態が発生し、臨時的に揚水ポンプを設置し対応いたしました。

春の用水不足は、近年恒常化の傾向にありますが、これは、担い手、農業法人への農地集積が進む中、農業機械の大型化により作業効率が向上し、作業日程が大幅に短縮されたことに伴い、ほ場整備時の用水供給に係る設計能力の範囲を超えることにより用水配りが追いつかない状況が生じてきています。

今後、水田のフル活用政策が進められ、他用途米の作付増加が見込まれることから、抜本的な改善に向けた検討が必要、極めて重大な課題となっております。

一方のダムの貯水量であります。田植以降、暑い晴天が続く、極端に降雨が少なく、六月半ばには九百万トンを超えたことから、六月十九日に用排水調整・施設管理委員会を招集していただき、六月下旬以降の用水計画を見直し、緊急減水、節水対策を決定して、貯水量の回復、確保に向けた対策を実行いたしました。

その結果、幸いにもその後の降雨も手伝って、台風等の被害もなく無事に刈り取りの秋を迎えることが出来ました。組合員の皆様のご協力に對しまして深く感謝を申し上げます。

また、国営豊沢川土地改良事業につきましては、総代各位のご協力をいただき九四・三%の同意をもって、去る六月十八日付で農林水産大臣に対し事業認可を申請することができました。重ねて感謝を申し上げます。

本事業につきましては、国営豊沢川農業水利事業建設所が開所されるとともに、九月十四日付をもって農林水産大臣より事業実施が適当である旨の決定をいただいたところであります。

さて、政府は土地改良事業と大いに関係する農業生産コストの削減を柱とする「農地中間管理事業」や「日本型直接支払制度」を積極的に展開しており、今年三月、農政の中長期のビジョンとなる新たな食料・農業・農村基本計画を閣議決定いたしました。

しかし、こうした施策の展開や新たな農政施策の決定とは裏腹に、平成二十七年の農業農村に係る政府予算決定額は、依然として平成二十一年度の六二%に過ぎない水準に留まっております。

この状況を打開するため、全国土地改良事業団体連合会の加盟団体は全国集会を開催し、今年度の補正予算の確保と平成二十八年度以降における当初予算の増額復活を政府に対して強く要望いたしました。

こうした中、政府は六月三十日、経済財政運営の指針「骨太方針」を閣議決定し、土地改良については初めて、予算増額に向けて強い表現を明記したものとされたところであります。

こうした状況を背景に、平成二十八年度の農業農村整備事業関係予算の概算要求額は四千五百八十八億円、対前年比一二・七・九%と一千億円の大規模な増加となっております。農林水産省のご

努力に敬意を表したいと存じます。しかし、この平成二十八年度の予算要求額も平成二十一年度と対比しますと、七九・五%と依然として大きく下回っている状況であります。この努力を傾注して参らなければなりません。

さて、平成二十六年の事業及び各会計の収支につきましては、各事業とも計画どおり実施したほか、一般会計の収支におきましては、三千三百三十四万円余の繰り越しとなったところであります。賦課金の収納状況につきましては、徴収強化期間を設けて、戸別訪問など、役員が一丸となって取り組んで参りました結果、未収金は、一千六百五十二万円余となり、収納状況は年々改善されてきております。

厳しい農業経営が強いられつつある状況にありますが、未収賦課金の回収は極めて困難ではあります。公正、公平の原則を守り、常に完納していただいております。組合員の納付意欲に影響を及ぼすことのないよう、国税徴収法に基づく滞納処分の実行についても対応して参りたいと存じます。

今後、課題が多く厳しい農業経営が続くものと予想されます。これに連動する形の中で、当土地改良区の運営も厳しさが増すものと存じますが、土地改良区本来の「水土里」の社会資本を整え守るといふ基本的な使命を着実に果たして参らなければなりません。皆様のご協力の下、役員一丸となって努力して参りたいと存じます。今後なお一層のご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。

末筆になりましたが、無災害で豊稔の秋を迎えられますことと、皆様方にはご健康にご留意のうえ、益々のご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。